



広報せとうち1

令和4年
月号

絆で創る、魅力あふれる豊かな町づくり | みんなで早寝、早起き、ラジオ体操、朝ごはん！

新年のご挨拶

謹賀新年



まちの人口と世帯 | 住民基本台帳 令和3年11月末

人口 | 合計

8,625 人 (前月比: +1)

人口 | 男

4,253 人 (前月比: ±0)

人口 | 女

4,372 人 (前月比: +1)

世帯数 | 合計

5,218 世帯 (前月比: +7)



「人が輝く 夢と希望に満ちた 魅力あるシマ」を目指して

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

町民の皆様をはじめ全国各地でご活躍の皆様方におかれましては、心新たに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

世界中で猛威を振るった新型コロナウイルスは、未だ終息の気配をみせず日本国内、そして本町におきましても、これまでの生活スタイルが変化し、地域住民の生活、地域経済に多大な悪影響を及ぼしている状況であります。そのような中、国においてはポストコロナを見据えた「新たな生活様式」「新たな働き方」の実現に向けた経済対策を打ち出し一刻も早い経済の回復を目指しております。本町においてもこの国の政策の趣旨に沿い、かつ町の実態に即し

た諸交付金事業、補助事業の実施に努め、現況の改善に努めて参りたいと思っております。

また、本年におきましても、「瀬戸内創生マニフェスト」や今後10年間の瀬戸内町の進むべき方向と目指すべき目標を定めた「第5次瀬戸内町長期振興計画」に掲げた分野別の各事業を確実に実施し、年間を通して安定した経済状況の維持、福祉、教育等諸施策の実施に努め、「誰ひとり取り残されず、幸せで輝いて生きていけるシマ」「夢と希望をもつて力強く生きていけるシマ」「いろんなことにチャレンジできるシマ」、そして、「ひとが輝く夢と希望に満ちた魅力あるシマ」の基本理念の基に、町政運営に邁進して参ります。

全ての町民が幸せに安心して

て暮らせ、若者が希望を持って働きチャレンジでき、故郷を遠く離れ辛苦の中で日本の発展のために尽力されてきた先輩や仲間たちが安心していつでも帰れるまちを作ることが私の使命です。今後も町民・全国の郷友会・役員職員が一体となった、より強固な「チームせとうち」を作り上げ、皆様の声に耳を傾け心に寄り添いながら全身全霊で取り組んでまいりる所存でありますので、皆様方には、今後ともより一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、新しい年が皆様方にとりまして、希望に満ちた幸運な年になりますよう心から祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。

瀬戸内町長

鎌田 愛人

KAMADA Naruhito



「存在感のある議会と持続可能なまちづくり」を目指して

新年明けましておめでとう
ございます。

町民の皆様をはじめ、全国
各地でご活躍されておられま
す皆様方におかれましては、
ご健勝で希望に満ちた輝かし
い新年をお迎えのこととお慶
び申し上げます。

皆様方には、議会活動に対
しまして日頃よりご支援ご協
力を賜っておりますことに対
しまして心から感謝申し上げ
ます。

さて、昨年七月には、念願
の世界自然遺産登録がなされ
たことにより、本町はもとよ
り奄美群島の益々の発展と活
性化が期待されます。

また、東京オリンピック・
パラリンピックでは、日本選
手の活躍に感動と希望をも
らった年となりました。

一方で、国内外で新型コロナ
ウイルスが蔓延し、今も感

染拡大の第六波が懸念されて
おります。本町におきまして
も感染者が確認されました

が、町民の皆様の徹底した感
染防止対策の実践と医療従事
者の皆様のご尽力により感染
拡大は防がれております。

しかし、まだ予断を許さな
い状況にあり、引き続き町民
の皆様と共に万全な感染防止
対策に取り組んでいきたいと
思います。

また、コロナ禍の影響によ
り低迷している商工業、観光
業、農林水産業等へのきめ細
かな支援と育成強化を図りな
がら、軽石漂着対策など新た
な課題解決を図らなければな
りません。

その上で、町民の生活の安
定化、新たな産業及び雇用の
創出に取り組む必要があります。
す。

更には、本町の振興発展の

基となる「瀬戸内町長期振興計

画」を確実に実行するために、

私共議会といたしましても、町

当局と一体となって取り組み、

ウィズコロナ社会に対応した議

会運営を行いながら、町行政の

監視及び評価機能の充実強化を

図ると共に、議員間の活発な議

論により政策立案、提言のでき

る議会へと議会改革を進めて参

ります。

そして、町民全体の福祉の向

上及び町政の発展に議員一同全

力で取り組み、「町民に信頼さ

れ品格と存在感のある議会と新

たな持続可能なまちづくり」を

目指したいと思えます。

どうぞ、本年も議会活動に対

しまして、ご支援賜りますよう

お願い致します。

むすびに、本年が皆様にとり

まして、実り多い年であります

よう祈念申し上げます、新年

の挨拶と致します。

瀬戸内町議会議長

向野 忍

KONO Shinobu



「生き生きとした人生を送るための

教育風土の構築と充実」を目指して

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新春を迎えるにあたり、瀬戸内町の一層の発展と子ども達の健やかな成長を心から祈念いたします。

昨年はコロナ禍の影響により、不安視されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催され、日本選手の大活躍で国民に勇気と感動を与えてくれました。また、奄美大島が世界自然遺産に登録という悲願達成の記念すべき年でありました。

学校行事においては、感染防止対策を講じた上で、規模を縮小しての開催等、学びに対する影響を最小限に抑える工夫を凝らしてまいりました。

さて、人工知能や、あらゆる物がインターネットで繋がるソサエティ5.0への変革期を見据え、これまで以上に「思考力・

判断力・表現力」を身に付ける教育が求められているところで

す。

年頭にあたり、本町の教育行政施策概要を説明いたします。学校教育では、道徳教育や人權教育の充実と共に、教師の更なる授業力向上を図ってまいります。

また児童生徒への情報端末配布を含め、GIGAスクール構想の推進や学校給食センターの建設をはじめ、教育環境整備を充実させてまいります。

文化面では、学習発表会、子ども島口伝統芸能大会も益々充実しており、郷土教育の更なる充実を図ります。

社会教育では、未就学児における運動能力の向上、子ども会活動、生涯スポーツ、公民館講座や自主グループによる学習の充実、文化財の保存活動や近代

遺跡調査、環境教育や体験活動、また読書推進事業にも取り組んでまいります。

教育委員会は、町民一人ひとりが、人間性豊かで、生き生きとした人生を送ることができるよう、教育風土の構築と充実を目指してまいります。

今年の干支「壬寅（みずのえ・とら）」には、「陽気を孕み、春の胎動を助ける」との、明るい意味があるようです。

町民の皆様におかれましても、新しい年が希望に輝き、幸多い年でありますことを心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

瀬戸内町教育長

中村 洋康

NAKAMURA Hiroyasu

